



新鮮さは至上命題
サンブックス浜田山



京王井の頭線浜田山駅の改札口から三十秒。サンブックス浜田山は文字通りの駅前書店だ。創業は一九八三年。入口の外には週刊誌とコミック誌のラックが左右に並び、村上春樹『騎士団長殺し』や東野圭吾『素敵な日本人』のポスターがガラス戸に貼られている。いかにも懐かしい町の本屋さん風情だが、店内に一步入ると、その棚作りに驚かされる。中央の雑誌棚を挟んで左側の棚こそ児童、旅行、実用、趣味と、町の本屋さんらしい並びが続くが、右側は尋常ではない。「堅いホン、いわゆる人文の棚」「歴史から学ぶ棚」といった棚の命名からわかるように人文、社会科学系の硬い本がぎっしりと並んでいるのである。レジの横に「棹続く」「売れてほしい本＆新刊」の棚には『砂糖の社会史』『新編荒野に立つ虹』『住友銀行暗黒史』『昭和プロレス正史』『宇宙のかけら』など、歴史から人文、ビジネス、サブカル、理工系まで、様々なジャンルの本が凝縮して並べられていて、大型店のようにはジャンル別に分けられていない分、発見がある。「しよっちゅう変わる棚」「どちらかという」と女性向きの棚「よくわからない棚」等、棚のネーミングもユニークだが、毎日来る馴染み客も少なくないので、しよっちゅう変わる棚以外の棚も頻繁にがらりと入れ替えるというからすごい。何が飛び出すかわからない、玉手箱のような二十坪の町の本屋さんなのである。

(2017年6月号)

サンブックス浜田山

東京都杉並区浜田山3-30-5

京王井の頭線浜田山駅前

営業時間 月～土10:00～22:00

日曜・祭日11:00～21:00 年中無休

